

1. オープニングイベントスケジュール（場所：日本財団 2 階大会議室）

11 月 28 日（金）

【開会挨拶および記念撮影の部】

- 11:00～11:15 笹川陽平（日本財団会長）
11:15～11:30 Mr. Miguel de Serpa Soares（国連事務次長（法務部））
11:30～11:45 雨宮雄治（外務省国際法局海洋室長）
11:45～12:00 Prof. Ronan Long（アイルランド国立大学）
12:15～12:45 Mr. Abbas Daher Djama from Djibouti（Alumni 代表）
12:15～12:45 記念撮影

【プログラム関係者及び外部有識者による講演】

- 14:00～14:35 現代の海洋問題と国連海洋法条約(Director of UN DOALOS)
14:35～15:10 海洋を基にした持続可能な経済発展(Prof. Alain Piquemal)
15:10～15:45 国家レベルでの国連海洋法条約の法制・制度上の履行 (Prof. Ronan Long)
15:45～16:20 水産資源及び生物多様性という観点からの海洋及び国連海洋法条約の恩恵 (Prof. Stuart Kaye)
16:20～16:35 休憩
16:35～17:10 気候変動下における水産資源管理と食糧安全保障 (Dr. Yoshitaka Ota)
17:10～17:45 国連海洋法条約の下での国際協力の意義(早稲田大学法学学術院河野教授)

2. 修了生総会スケジュール（場所：泉ガーデンカンファレンスセンター）

12 月 1 日（月）

- 10:00～11:30 各国・地域における海洋の課題（東及び西アフリカ）
11:40～13:00 各国・地域における海洋の課題（アラビア半島、黒海及びカスピ海）
14:00～15:30 各国・地域における海洋の課題（アジア及び東南アジア）
15:45～17:15 各国・地域における海洋の課題（カリブ海地域及び太平洋島嶼国）
17:15～17:30 総括セッション

12 月 2 日（火）

- 09:30～10:00 NF-UN DOALOS 人材育成プロジェクトの背景と今後
10:00～17:00 ネットワーク構築演習（地域ごとに分かれてのグループ演習）

12 月 3 日（水）

- 10:00～15:15 地域間演習（グループ演習を全体で総括）
15:30～18:00 会合の総括と成果、今後に向けた提言のとりまとめ

3. 代表的な修了生

氏名：Mr. Abbas Daher Djama

国籍：ジブチ

役職：国連ジュネーブ事務局ジブチ政府代表部参事官

概要：東アフリカにおける海賊などを含む海上セキュリティ政策に関し、ジブチ政府代表として重要な役割を担う。

氏名：Ms. Gam Pham

国籍：ベトナム

役職：海洋・島嶼局立法部副部長

概要：東ベトナムの沿岸部・島嶼部の海洋管理・法制に関する起草作業を所掌する国の委員会に参画している。

氏名：Ms. Anna Mihneva-Natova

国籍：ブルガリア

役職：海事局 EU・国際プロジェクト局部長

概要：EU の海上及び内水域の航行安全や海洋環境などに関する法規の国内法化を担当。バラスト水管理条約の批准に向けた作業部会の議長なども務めている。

氏名：Mr. Dossou Rodrigue Akohou

国籍：ベニン

役職：外務省事務次官補

概要：国家海洋安全保障戦略策定に関する省庁間委員会など、海洋法制や管理政策を決める国の各種委員会に参画している。